



イフジ産業の鶏卵相場予想

2024年 12月 の鶏卵相場予想

285円

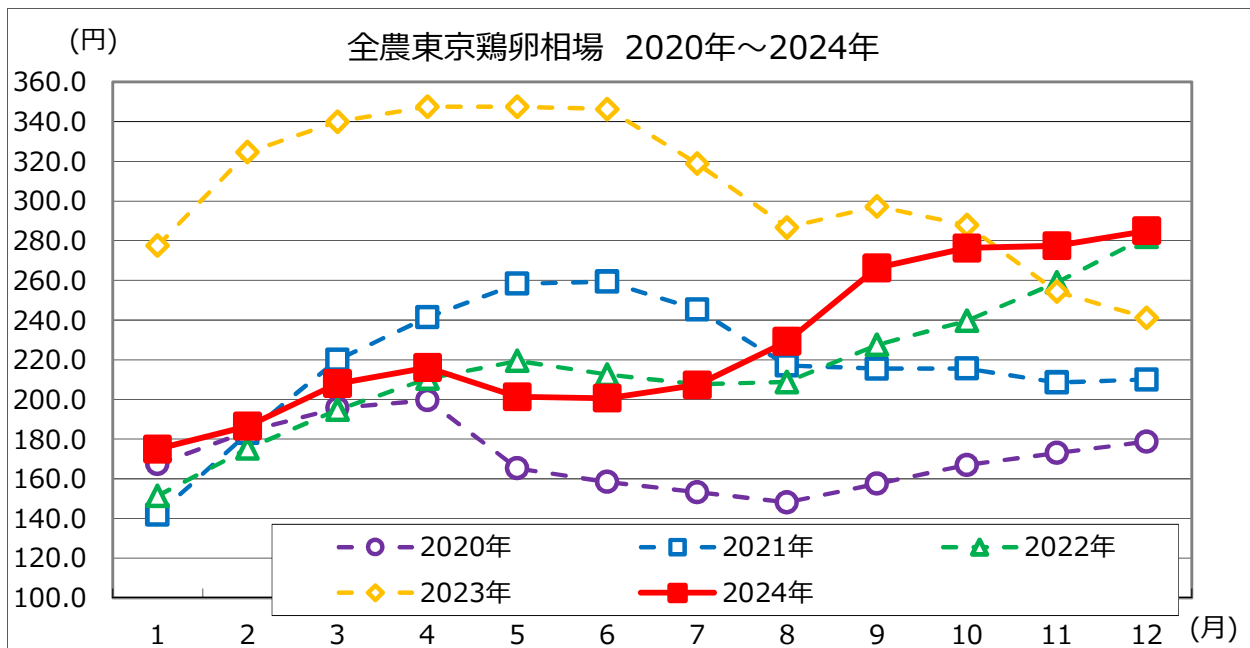
(全農東京相場LM加重平均)

11月の相場ですが、前月最終値を引き継ぎLサイズ275円・Mサイズ280円にてスタートしました。その後、両サイズとも保合のまま推移しています。(2024年11月25日時点のLM加重平均277.5円、月間LM加重平均277.50円)

供給面では、11月中旬より本格的に外気温が低下したこともあり、産卵率や個卵重は増加傾向となっております。しかし、依然として全国の餌付け羽数の平均値(2024年1月~9月)が前年比92.9%と低迷していることや鳥インフルエンザが各地で発生していることから今後の供給面への影響が懸念されます。一方の需要面では、10月の来日外国人数が過去最多数を更新するなど、引き続き行楽シーズンによる観光需要が目立っているように感じます。また、加工筋を中心におでん用ポイル等に使用される小玉需要が強まっていることから全国的に小玉高の相場展開となりました。

さて、12月の相場予想ですが、供給面では引き続き堅調な生産量で推移することが考えられます。ただ、前述の餌付け羽数低迷に併せて特に懸念されているのが、「エッグショック」といわれ鶏卵不足を引き起こした2022年度に匹敵するスピードで発生している鳥インフルエンザです。農林水産省が発表している11月25日迄の採卵鶏での発生件数は、2022年度10例に対し、2024年度は8例となっております。既に北海道から鹿児島県までの全国で発生が確認されており、予断を許さない状況が続いています。一方の需要面ですが、例年より遅い紅葉を迎えている地域もあるため、引き続き、駅・空港・ホテル・土産関係といった観光需要は好調に推移することが予想されます。また、気温の更なる低下によって、鍋物・おでんなどの需要が増加していくものと思われます。外食や加工筋では年末商戦・クリスマスなどによる特需が発生するため、更なる需要増加が考えられます。よって、上記需給バランスより月全体を通して相場は上伸傾向になると予想いたします。月間LM加重平均は285円付近と予想いたします。

ただし、今後の鳥インフルエンザの動向次第では、大きく状況が変わることが考えられますので、引き続き注視していく必要があります。



※2024年10月の相場は11月25日までの平均値。2024年12月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はこちらをご覧ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

